

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2014年7月16日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

貧困をなくすため共同行動を！ 最低賃金引き上げを

反貧困ネット北海道 5周年記念シンポジウム

7月19日、反貧困ネット北海道は、5周年を記念してシンポジウムを行い、約100名が参加しました。二つの講演のあとディスカッションしました。

シンポジウムに先だって、加盟団体を代表して「北海道生活と健康を守る会」「しんぐるまざあず・ふぉーらむ北海道」「札幌学生ユニオン」から活動報告しました。学生ユニオンは、ブラックバイトの実態を寸劇で表現し、改善のとりくみへの支援を訴えました。



講演「安倍政権下で人間らしく働くために」

毎日新聞記者の東海林智さん

派遣村の体験にも触れ、労働者を物扱いする安倍「労働政策」や若年労働者の深刻な労働実態を紹介し、貧困をなくす共同した取り組みを呼び掛けました。



女子高校生の叫び 「社会を変えて」

経済的に困難な家庭でアルバイトして大学進学した女子高校生に「頑張ったね」とプレゼントした際、「学生が勉強以外に苦勞しなくもないのが本当の社会のあり方ではないですか。みんなほめてくれるけど、誰もそんな社会がおかしいといってくれない。東海林さんもそういうですね」と泣きながら怒られた。

東海林さんの講演会から

講演「シングルマザーと子どもの貧困」

あかいしちえこ
赤石千衣子理事長



しんぐるまざあず・ふぉーらむ理事長が、ひとり親家庭の放置できない厳しい生活を告発。多くが働いているが低賃金。就労・子育て支援の充実を訴えました。

全員が当事者となり、みんなで公正な社会を

貧困と社会問題と考える場合、よく明日は我が身と説明されます。これだと「貧困にならないようがんばろう」となってしまう。貧困は不正な問題です。公正な民主主義社会をつくることは全員が当事者となります。個別の問題ともつなげていきましょう。

松本伊智朗代表（北大教授）のあいさつから

■シンポジウムでは、最低賃金の大幅引き上げの課題は共同して取り組めるなどの意見がだされました。

7月25日(金)は 第3次最賃デー だれでも！どこでも！1000円以上に

宣伝行動・デモにも参加ください。署名もお願いします。

札幌地区労連・道労連の行動計画

- 8:00～8:45 札幌市内ターミナル宣伝
- 10:00～17:00 地下鉄駅頭宣伝（札幌市3路線）
- 13:30～13:45 最賃署名提出行動
- 18:30～19:30 デモ行進（大通西3丁目→すすきの方面）



7月22日(火) ぐらしのSOS 何でも電話無料相談

0120-290-710 (フリーダイヤル)

10時～16時 主催 雇用・ぐらし・SOSネットワーク北海道